

# 農委だより

No. 31  
2022.7.1

篠本新井地区に広がる小麦栽培

農事組合法人 アグリささと ではドローン(マルチローター)で防除作業を行っています。

これからの農業は、後継者不足や農業従事者の高齢化を踏まえ、より一層の作業の効率化や省力化が必要です。テクノロジーを駆使・活用することで、更なる農業の発展が期待されます。



病気を防ぐための薬剤を積んで離陸するドローン



低空を飛ぶので、効率よく散布できる



駐機時ローターは折りたたんでいる

## 会長就任にあたって



横芝光町農業委員会

会長 伊藤 靖雄

農業委員の改選に伴い、4月の農業委員会臨時総会において会長に選任されました。

会長の重責を担うこととなり、改めて身の引き締まる思いです。

横芝光町には豊かな農地が広がっていますが、高齢化による農業者の減少や担い手不足が深刻化しています。また、相続で農地を受け継いでも農業を営んでいないため、耕作されない農地もあります。

コロナ禍による農産物の需要低迷と価格の下落に加え、ウクライナ侵攻による燃油価格や資

材価格の高騰も重なり、食糧供給の不安が再燃するなど農業を取り巻く情勢は厳しさを増しています。

一方当町では、成田空港の機能強化や圏央道の開通を控え、皆様の暮らしや農業の状況も大きく変化しようとしています。

こうした中、私たち農業委員や農地利用最適化推進委員は、貴重な地域資源である農地を適切に維持保全して次世代に引き継ぎ、町農業の振興に貢献できるように力を合わせて活動してまいります。

これまでの農地に関わる許認

可や調査だけではなく、農地の集積・集約化による農作業の効率化や、遊休農地の発生防止、農業への参入といった「農地利用の最適化」の推進に取り組みることがより重要となっています。

この推進に向けては、様々な情勢を踏まえた長期的な展望のもと、関係機関や関係団体との連携はもとより、農家以外の方々にも農業に対する関心を持つていただくことも非常に大切であると考えております。

今後とも、皆様からのより一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。会長就任のあいさつとさせていただきます。

### ○農業委員の役割

農地の売買、賃借の許可、農地転用案件への意見の具申などを行います。あわせて農地利用最適化推進委員と協力して、農地の集積・集約化と、遊休農地の発生防止・解消などを行います。

### ○農地利用最適化推進委員の役割

耕作したい「人」と「農地」のマッチングといった農地利用の最適化を進めます。担い手への農地利用の集積・集約化と発生の防止・解消に努め、新規就農者の掘り起こしなども行います。

### ○農業委員・農地利用最適化推進委員改選

任期満了に伴う改選により、令和4年4月1日、町長から新しい農業委員12名に任命辞令が交付され、同日開催された農業委員会臨時総会において会長と会長職務代理者が選任されました。

また、15名の農地利用最適化推進委員が委嘱状の交付を受けました。

任期は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間です。

次頁から各委員の担当地区を紹介いたします。

# 新 農業委員の紹介

※敬称略  
氏名  
担当地区



伊藤 靖雄 (会長)  
木戸台、谷台、小堤、寺方、  
曾根合、於幾、坂田、坂田池



小川 文彦  
中台、牛熊、姥山、遠山  
長倉、取立



伊藤 裕児  
横芝、古川、両国新田  
鳥喰上



秋葉 芳明  
栗山、鳥喰下、鳥喰新田



伊藤 博明 (会長職務代理)  
北清水、新島旧三島、  
新島旧新堀、新島、屋形



花澤 成晃  
篠本、宝米、市野原、  
二又、新井



川島 理昭  
小田部、母子、小川台、台、富下、  
傍示戸、芝崎、芝崎南、虫生



鈴木 茂樹  
宮川 (桑郷、宮内、  
橋場、古屋、西高野)



向後 隆輝  
目篠、上原、原方、谷中、  
宮川 (入、作間内)



伊藤 直樹  
木戸、尾垂イ、尾垂口



永野 邦子  
法務局案件等  
(横芝地域全域)



下高原 美津子  
法務局案件等  
(光地域全域)

# 新 農地利用最適化推進委員の紹介

※敬称略  
氏名 担当地区



勝又 富夫  
木戸台、中台、牛熊、  
谷台



渡辺 辰雄  
取立、長倉、姥山、  
遠山



浅野 修一  
小堤、寺方、曾根合、於幾、  
坂田、坂田池



瀧田 浩一  
横芝、両国新田、古川、  
鳥喰上



市原 裕  
栗山、鳥喰下、  
鳥喰新田



三木 茂人  
新島、新島旧三島、  
新島旧新堀、北清水



海保 明由  
屋形



大木 勝  
篠本、新井



内藤 洸一  
二又、宝米、市野原



本橋 亨彦  
母子、小田部  
台、小川台



深田 行雄  
傍示戸、富下、虫生、芝崎、  
芝崎南



林 孝次  
宮川（桑郷、橋場、  
西高野、古屋、宮内）



川島 紀男  
目篠、上原、原方、  
宮川（作間内、入）、谷中



伊橋 政嘉  
木戸（辻、長塚、木戸、  
関、白磯）



伊藤 政良  
尾垂イ、尾垂口  
木戸（五ノ神）

## 農地に関するご相談

農地の売買、貸し借り、農地以外の使用（転用）等は、農業委員会または知事の許可が必要です。申請があった案件は、毎月1回開催する農業委員会総会で審議します。

案件のある方は、事前に農業委員会にご相談ください。

- ・農地を農地として、売買や貸し借り等をする場合 ⇒農地法第3条の許可
- ・農地の所有者が自分で使うために、農地を農地以外に使用する場合 ⇒農地法第4条の許可  
(知事許可)
- ・農地を農地以外に使用する目的で、売買や貸し借り等をする場合 ⇒農地法第5条の許可  
(知事許可)

※申請の締切日は毎月25日（土、日、祝日の時は、前日）になります。

### 令和3年度 農地の移動・転用状況

(令和3年4月～令和4年3月)

区 分		申 請		許 可		備 考	
		件数	面積 (㎡)	件数	面積 (㎡)		
3条	売 買	38	71,133.00	38	71,133.00		
	交 換	0	0.00	0	0.00		
	贈 与	10	54,305.00	10	54,305.00		
	そ の 他	2	6,994.00	2	6,994.00	賃借権1件 使用貸借権1件	
4条	転 用	1	257.00	1	257.00	社宅用地	
5条	所有権移転を 伴う転用	23	19,152.00	23	19,152.00	専用住宅用地4件 建売分譲住宅用地4件 宅地分譲用地2件 資材置場・駐車場用地6件 専用住宅・車庫用地1件 専用住宅・倉庫 ・資材置場用地1件 事務所・倉庫用地1件 農業用倉庫用地1件 太陽光発電施設用地1件 計画変更2件	
	賃借権、地上権 等を伴う転用	32	26,284.28	32	26,284.28	専用住宅用地 3件 店舗用地 2件 貸資材置場用地 1件 資材置場・駐車場用地 1件 太陽光発電施設用地 1件 一時転用 24件	
利用集積	賃借権	新規設定	53	217,745.59	53	217,745.59	
		再設定	52	157,489.00	52	157,489.00	
	使用貸借権	新規設定	4	9,797.00	4	9,797.00	
		再設定	1	404.00	1	404.00	
	所有権移転		8	19,845.00	8	19,845.00	
合 計		224	583,405.87	224	583,405.87		

新しくなった!

# 農業者年金

農業者年金は平成14年に大きく変わりました。ライフプランに合わせて金額が設定できる、自由度の高い制度です!

## 加入条件

60歳未満※1

国民年金の第1号被保険者

年間60日以上農業に従事

	年金財政のしくみ	必要な加入期間	税制面	亡くなった場合	やめたいとき
新制度	積立方式	1ヶ月	支払った保険料は全額が社会保険料控除の対象となります。	80歳までに死亡した場合、死亡した月の翌月から80歳到達月までに受け取れる予定だった年金の現在価値に相当する額が遺族に支給されます。	任意脱退できます。
	自分が将来受け取る年金の原資を、自分自身で積み立てる方式です。				脱退一時金はなく、積み立てた保険料は将来年金として支給されます。

自分の年金を自分で準備するから、**少子高齢化にも強い!**

たとえ1ヶ月だったとしても**将来受け取れる!**

ご家族の分も含めて**全額が控除の対象になる!**

3年以上納めていなくても、要件に該当すれば**死亡保障がある!**

いつでも**やめることができるので、お手軽に始められる!** その場合も積み立てた保険料は**将来年金として受給できる!**

※1 令和4年5月の制度改正で、65歳未満の方でも、場合により加入可能となりました。

農業者年金のご相談は、最寄りの農協(JA)か農業委員会または農業者年金基金までお問い合わせください。

【農業者年金基金 電話 03-3502-3199】



毎週金曜日に発行

購読料は月額700円(送料・税込)

購読の申し込みは農業委員会事務局へ ☎ 84-1242

## 編集後記

広報委員長 伊藤 博明

7月になりました。トウモロコシ、ネギの出荷と、北清水営農組合の麦の収穫が一段落です。私はネギを中心にソラマメやブロッコリなど露地野菜を栽培していますが、最近、孫の子守という大きな仕事も増えました。

さて、4月に農業委員を拝命してから3か月が過ぎ、荒れた農地が気になるようになりました。これまではあまり気に留めていなかったのですが、私の身近にもあり、どうしてゆくのがよいかと関心を持つようになりました。

それぞれ事情があつて耕作していませんが、荒れてしまうとよいことはありません。荒れてしまう田畑を一枚でも増やさないと、もし耕作ができないと困ってしまいましたら、私たち農業委員、農地利用最適化推進委員にご相談ください。

広報委員長 伊藤 博明  
 広報委員 伊藤 裕児

花澤 成晃  
 永野 邦子  
 下高原 美津子